

学校再編に係る地域協議会(生駒南小学校区)

第1回協議会 会議録

開催日時 令和3年1月25日(月) 午後3時から午後5時40分

開催場所 生駒南小学校 第2多目的室

出席者

(参加者) 前田康二、松尾正則、山田龍三、辻本得延、根来健夫、吉田昭、
岡本泉、佐々木達也、中田眞知子、大久保智子、奥田吉伸

(事務局) 中田教育長、山本教育総務課長、前田教育指導課長、
金原生駒南小学校教頭、牧井教育総務課庶務係長、西井教育総務
課庶務係

(傍聴者) 14名

欠席者 田中康博、堀田綾乃、

配布資料

資料1 地域協議会(生駒南小学校区)参加者名簿

資料2 学校再編に係る地域協議会の目的、協議内容、運営方法等について

資料3 「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」に対する
意見まとめ

資料4 地域協議会スケジュール(案)

教育長挨拶

昨年12月に開催いたしました「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」に対する意見交換会での意見を踏まえまして再編等につきまして市民・住民の方々と教育委員会が協創して協議し、一定の方向性をまとめていただきたいということで、その結果を教育委員会に意見書として提出いただきたいと考えております。

また、コーディネーター役として生駒市立小・中学校のあり方検討委員会の委員長でありました前田康二先生にお願いしております。

今回、皆様から出していただく意見或いは提案につきましては、今後の教育委員会或いは総合教育会議での市長協議におきまして参考とし、今後の学校再編の決定に反映していきたいと考えていますので是非ともよろしくお願ひしたいと思ひます。限られた時間ではござひますが自由闊達な意見を出し合ひたい

ただければありがたいと思っております。

1.出席者及び座長紹介

(事務局) 【資料1 地域協議会(生駒南小学校区)参加者名簿】の説明

(前田座長) 奈良教育大学の前田です。学校教育のあり方検討委員会で2年間に渡って地域の代表の方々と委員会を進めさせていただきました。その中で小中一貫教育を中心として学校教育を今後どのように進めていくことが子ども達のより良い未来に繋がるのかという視点から話を進めさせていただいたところがございます。その中で一定の答申を出させていただいて、それを踏まえて、市教委のほうで「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」策定されました。それに関わって、今回小学校の再編ということが具体的な課題として出てきているわけですが、これに関わっては地域の皆様が子ども達にとってどういう方向が今後将来を考えていく中で、学校教育の良いあり方になっていくのかということ色んな立場から意見を出していただきながら、慎重に議論していく必要があると思います。そういう意味での地域協議会ということでお聞きしておりますので、できるだけ参加の皆様のご意見を活発に出していただきながら、今後の学校の在り方、子ども達にとってのより良い教育のあり方について意見を取りまとめて市の方にお返しできればと思っております。皆様の活発なご議論をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(事務局) ※事務局出席者紹介

2.地域協議会の設置について

(事務局) ここからは、座長の前田先生に議事進行をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(前田座長) それでは、議事進行を務めさせていただきます。円滑かつ活発な議事進行にご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

事務局より説明を受けたいと思います。

(事務局) 【資料2 学校再編に係る地域協議会の目的、協議内容、運営方法等について】の説明

(前田座長) 地域協議会の目的、協議内容、運営方法等について説明いただいたわけですが、協議会の設置については、こういう形でよろしいでしょうか。

<質疑なし>

(前田座長) ご意見・ご質問ございませんようですので、これでお認めいただいたということで次第の3に進ませていただきます。

3. 「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」に対するこれまでの意見と課題整理について

(前田座長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料3「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」に対する意見まとめ】の説明

(前田座長) 事務局より説明がありました。これまでの意見や課題等でございますが、何かご意見やご質問等また追加での課題等ございませんでしょうか。

(松尾氏) この地域協議会は、優先順位を決めながら検討するのか、漠然と全体的に検討するのか。その辺がちょっとわかりにくい。また、中学校の事も考えて対応しないとうまくまとまらないのではないかと考え出している。それは別で、今の課題が出ている南小と第二小の扱いに的を絞って地域協議会をやるのかが曖昧でちょっとわかりにくい。

(前田座長) 今いただいた意見についてご意見ございますか。

(山田氏) 子どもに対する教育を一番重要視してほしいと思います。市の財政・人員とか色々あると思いますが、小規模・大規模にも良い面も悪い面もある。統廃合でコミュニティが潰れていくことが予想出来ます。子どもにとって統合して9・3制にすると何処までのメリットがあるのか、6・3・3制は、それなりに常識的な線で非常に良かったと評価しています。

(前田座長) 色んな意見をいただければ良いと思います。議論の優先順位ということのご意見をいただきましたが、今、教育を最優先にどの意見をいただきました。

(根来氏) ここは再編について協議する場かと考えます。今、6・3・3制と

9・3制ということには言及されていないが、先ほど言われた地域の分割ですが、かなり問題があります。中学等も問題があるのですが、本来なら第二小に行くべき地域なのにほとんどの人が南小に来ている現実がある。それと中学校の格差が非常に大きいこういうこともこの場で協議するんですか。

(松尾氏) 「小規模校・大規模校のメリット・デメリット」「小規模校を存続させる場合の具体的な方策」とあるが、そういうところを重点的におこなっていくのですか。色んな意味で学校を6・3・3制でいくのか9・3制でいくのか先ほども話が出ていましたがどうするのかということもあります。そういうところをはっきりしたほうが良いと思います。

(前田座長) 色々ご意見をいただいておりますが、協議会としては、教育委員会で策定された「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」、特にここで示されている再編に関わる議論がされていますので、それに関して意見を取りまとめていくということになるかなと思います。そこには色んな要素が絡んでくるので、こういう議論が必要だということであれば重ねていくべきかと思いますが、特に今考え方に対してこれまでいただいている内容についてまとめがなされているわけですが、そういったことについても皆様から付け加えるところであるとか、こういった意見が出ているがこんな意見もあるということとか、そういったことも含めてお考えをお聞かせいただければと思います。

(山田氏) 学校統合は非常に時間がかかる場合が多いです。子どもにとって一番良い教育は何かということをおもんなの意見で論議していけば良いと思うんです。経済的なことも大事かもしれないが、教育に金をかけるという気概をもってこの問題を考えていってほしいと思います。

(中田氏) 財政負担を考えるとの方に重点が大きいうように感じてしまう。地域の中に小学校が無くなってしまいうことは寂しいことで、コミュニティとして火が消えた状態になると思うんです。再編成ができれば南中と大瀬中の人数格差もかなり解消されると思うし、このまま存続できるのではないかと思います。

(前田座長) 財政的なところとして最初のところに出てくるわけですが、以後学校教育のあり方ということで、大規模・小規模ということでどれ位の規模が学校教育を理想的に動かしていくのに一番適正なのかということも市の考え方で示していただいているわけですが、そのことについてもこの校区にあてはめていただいて、ご意見を集めていければと思います。

(佐々木氏) P T Aの会長をさせていただいて南小学校の子ども達の環境はすごく良い環境の中で学んでいると思います。中学校に行ったときに、昔に比べて生徒数が減っていることで、クラブ活動の選択枝がすごく減っています。中学校の学校区で、南小学校に通っていて大瀬中学校に通っている子ども、家の窓から南中学が見えているのに、山を越えて大瀬中に行かなければいけない子どももいる。その辺も含めて家から近い学校で通学距離を短くするのも一つかと思えます。

(根来氏) ここに南小の地区の人が集まっていて、「南小が無くなる」という話なら、随分と意見が出ると思うんですが、南小の規模が大きくなる方向、教室が足りなくなるわけでもない、反対する理由がないんです。

(辻本氏) ここは、統合という立場では当事者ではあるが、無くなる訳ではない。何処に焦点を当てて話して良いかわからない。漠然としていて意見が出しにくい。確かに、話を聞いていて財政的なことが理由になっているのではないかと思うが、財政がなければ何もできません。不満な人も出てくるが、何処かでしわ寄せしながらお互いに自分たちのところを良くしていこうということがありますので、意見を出しにくいということもあります。

(松尾氏) 資料3①に本市の財政状況がトップにきて、財政問題が先にきているような印象を与えると思うんです。私も検討会のメンバーでしたが、生徒が減っていくその中で学級の適正生徒数をどのようにすれば良いのかということを検討してきたんです。少なくとも小学校の場合は、2クラス位でやっていきたいが、現実に1クラスしかない。

(山田氏) 第二小では当事者としてやっぱり存続していきたいという意見が多く出ているが、それを踏まえて南小としてどう考えるという部分を

考えていかなければならないと思うんです。その為に、民意、色々な意見を汲みたいからこそこういう形でやっておられるんだと思います。第二小で出てきた意見も十分汲み取って、一般的な教育を大切にしてほしいと思います。

(松尾氏) 前回の意見交換会の資料を見たら第二小の皆さんは絶対反対ですね。小規模でもうまくやっているのだから第二小を残してそのままやっていきましょうということの色々詰めてやっていく必要があると思うし、そうではなくて基本的な考え方に合わせて統合してもっと良い学校はできないだろうかということを考えていくという方法もある。

(吉田氏) 子ども達の気持ちというものを大事にしていかなければいけません。一番統合で問題になるのが距離的な問題・危険性の問題、今回の問題というのは、どちらかといえば、どちらかを選ぶことは出来ません。その辺でどのような妥協案があるのか、市として教育委員会として、どのような妥協案を持っておられるかということが漠然としているのでわからない。

(前田座長) いろいろ方向性、この協議会の協議内容のポイントというものを示していただいたのかなと思います。協議内容としては、この基本的な考え方で示されている再編案を検討するに当たって懸念される事項、課題とかそういったことを明らかにしていくということであろうかと思います。この協議会は始まったところですし、このあと2回3回と重ねていくに従ってそれぞれのご代表いただいている団体・地域での意見集約をしていただいて、それを持ち寄っていただきながら、この場で共有し、一定の意見をまとめていければということを考えています。議論すべき内容についてここで共有し、次回に向けてお持ち帰りいただければと思います。それでは、学校の現状等も含めてお話いただけますか。

(大久保氏) 学校運営という立場だけを考えると、今の規模に大きな問題は無いが、南小と第二小が統合してI学年3クラスの規模の学校になった方が学校運営としては、色々な行事を行う上でも学習を進めていくうえでもやり易いだろうし、また色々な教育効果が上がりやすいだろうと思います。本当に統合するとなると、子ども達がすごく

遠いところから通ってくるので、どうやって登下校の安全を確保できるかという問題もありますし、地域の方々に協力いただかないと学校の運営は進めることが出来ないという状況の中で、これからコミュニティスクールというものも始まっていきますが、その中で地域の皆様方の納得いただいたうえでの再編・統合でないと学校運営は難しいと思います。小中一貫校についても、これからそちらの方向に動いていくのかなと思います。卒業生の殆どが南小から南中に進学している状況です。既に小中一貫教育かそれに近い状況になっています。小学校の統合だけでなくその先の中学校のことも考えた時に、先ほどから出ている南中の規模も考えていくとなれば、その辺で校区の再編ということも問題になっていくということも考えますので、南小と第二小が一緒になることは、色んなそれに付随してくる課題があると感じています。小規模と少人数指導のこともこの資料に出ていたと思いますが、小規模の学校と少人数指導ということは、少し意味合いが違うものかなということも感じます。

(前田座長) 小規模と少人数についてもう少しお話いただければと思います。

(大久保氏) 小規模の学校は、学校全体の規模が小さいことであり、1クラスの人数が少なく、1クラスしか無いのと、少人数のクラスがいくつもあるというのでは、教育効果も違うのかと思います。文部科学省が35人学級を言っていますが、そのことは小規模の学校というのではなくて、1クラスの規模がもう少し小さくなったほうが、全体に指導が行き届くし、細かな指導が行き届くということです。ただ、1クラスだけでOKかというとはそうではなくて、少人数のクラスが幾つもあった方が学校としては活性化するのではないかと私は思います。

(前田座長) 南小学校のほうから現状とか、学校運営の観点からのご意見もいただきました。その際には通学の際の安全面確保とかのクリアすべき課題もあるということでありました。校区の課題もあるということです。再編をするかしないかという課題もありますが、これらを踏まえて、次の段階では、そういった課題も議論していかなければならないということもあります。まずはこの再編に係わって南小学校として、第二小が南小に入ってくるという形をとることで、ご

意見が出にくいだろうというご意見もありましたが、子ども達の学校での学びがどうなっていくのかというところもそれぞれの立場でご議論・ご意見をいただければというように思います。こういった議論をそれぞれ持ち帰っていただいてそれぞれの場で意見の集約をしていただく、また、市の方での意見集約をお願いするということも含めて、幅広い意見を集めさせていただければと思います。資料3の『「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」に対する意見まとめ』を中心にご意見をいただければと思いますが、一通りご意見をいただけたとは思いますが、これに関して今のところ皆様のご意見を表明していただいたということでございましたら、これを踏まえて先へ進ませていただければと思います。中々議論を何処にもって行って良いかということでは難しいところではありましたが、とりあえず今、皆様からいただきました意見についても一つの課題・提案であるとして、今後の協議に生かしてまいりたいと思います。それでは次の議題に進ませていただきたいと思えます。

4. 各関係者等からの意見聴取について

(前田座長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料4 地域協議会スケジュール(案)】の説明

(前田座長) 事務局より2点提案ございました。1点目としては、この協議会に参加いただいている皆様の所属される団体からどのように聴取していくのかということと、その時期についてございます。時間的なこと、方法についてということございます。このことについて、皆様からご意見いただけますでしょうか。

(根来氏) 民生・児童委員の団体という意味では、南地区民生・児童委員の中に入っているんです。南小校区の人・第二小校区の人・壱分小校区の人が集まった団体なんです。これを団体一つの意見にまとめてこいと言われても無理です。

(松尾氏) 南地区自治連合会についても3つの小学校にまたがっているのもまったく一緒です。まったく意見が違うので団体の意見としてまとめることはできない。

(辻本氏) 第二小の統合に反対されている校区の民生委員さんは、色んな情報も入り、「存続してほしい。」「今の規模で学校運営もうまく行っている」と仰っているのはわかるんですが、そういう声が大きかったら、民生委員としてその意見に従うというのも、本当にそれで良いのかと思っています。

(事務局) 各団体でまとめてほしいと言っているのではなく、意見の聴取をお願いしたいということです。

(松尾氏) 意見はほとんど出尽くしていると思います。

反対の人は反対だし、こちらはこちらで問題ありませんとなります。

(辻本氏) 私の地区では当事者がいないので意見すら出ない。

(山田氏) 第二小が当事者なら第二小の意見をしっかり踏まえた上で、第二小から統合もありですよという形の意見を第二小から出してもらって、それから南小に来る。その順番のほうが良かった。第二小の協議会を先に開催していただいて、南小とかに投げかけていただければ良いのではないかという感じがします。

(前田座長) 様々な観点からご意見を聞くというのがこの協議会の趣旨ですので、いろんなご意見を出していただく必要があります。今のところ方向性どうこうというよりもそれぞれの住民の方や団体の方々の様々な角度からのご意見をいただくことで、何か集約できるものがあれば幾つかの方向性や幾つかの観点を見いだすことが出来れば良いのかなと思っています。第二小との温度差もあるでしょうし、お互いに意見をどういうふうに考えていったら良いのかということがあると思いますが、お互いに平行して進めていく必要があると思いますので、その中で方向性が見えてくるのはまだ先なのかなと個人的には思っています。意見を取りまとめていただく必要はないんですが、いくらかでも意見聴取をいただく中で、更に少しでも蓄積できればと思うんです。完全な形で意見を集めてもらったりというのは無理かと思うんですが、幾らかでも蓄積していただくという観点で進めていただければ次の協議会でも建設的な話が出るのかなと思います。

(松尾氏) パブリックコメントからずっと意見は集約されていて、言い尽くされています。集約する意味がないのではないかと思います。

(事務局) スケジュールで各団体の意見聴取をすとなっていますが、冒頭の挨拶でも申し上げましたが、市民と共に考えて創り上げていこう、協創という発想、創り上げていこうという趣旨なんです。投げかけるということは、市民の皆様に関わり掛けるということが大事と考えています。自治会もそうですし、皆さんも既に認識されていると思うんですが、ただ、やはり広く問題意識を持っていただきたいということで、俎上には上げていただきたいんです。意見が無ければ、無いで良いと思うんですが、生駒市としては、市民の声を聴きたいという姿勢を出しておりますので申し訳ないですが、どういう形かで今からご議論いただきたいと思うんです。こういうことが学校で大きな問題になっていると、特に少子化で子どもたちが教育を受けるにあたって、何を求められているのか、一緒に考えてほしいんです。保護者以外の市民の方も含めて、だから全市的な取組という形で、欲張ったものの考え方になっているのですが、座長が仰ったように小平尾地区や第二小地区では関心が高いので、一定の議論はされているとは思いますが、他の南地区の自治会でもどういう形でも考えていただいて、この場でご議論いただければと思います。ちょっとせっかちで申し訳ないんですが、本日の資料3はこれまでの意見を一定まとめたものです。これはオープンにしておりますので、配っていただいて何か意見は無いかと投げかけていただければと思います。これも一つの手法かなと思います。無ければ無いでよいと思います。これを出すことによって協議会があるということがわかりますし、何をやっているのかもわかります。要は情報を発信しないと関心が高まらない。ここで終わってしまえば、地域に広まっていけないということもあるので、そういうことも考えていただければありがたいという思いがあります。

(前田座長) 各地域で意見聴取いただく時に、この資料3を配っていただいても良いということで、事務局のほうから必要があれば、基本的な考え方の説明や意見聴取の資料提供を含めて伺わせていただくことも可能とのことです。流れの説明をしてもらって意見をお聞きすることも可能ですのでそういう事も含めて検討いただければと思うんですがいかがでしょうか。

- (山田氏) 市が公共施設で子育て世代の意見を直接聞かれれば良いと思うんです。また、市長が「協働」「協働」といつもと仰っているので、市長さんの意見も来ていただいて仰ってもらえれば、もっと事が進んでいくと思うんです。市として大きな会場で意見聴取をされる予定は無いんですか。
- (松尾氏) 去年の11月にセイセイビルでされました。
- (山田氏) あったことは、知らなかった。
- (辻本氏) 説明だけで意見は聞かなかった。意見を聞く場ではなかった。年末に意見交換会を開くと聞いていた。南小地区は関心も無いので意見も出なかったのではないのでしょうか。
- (松尾氏) 市の方で12月に南小地区の意見交換会もされて、その中で南小校区としての意見も出ました。市として1回意見交換会もされて、地区ではどうですかという第2ステップの段階に来ているということです。
- (山田氏) 1回だけでは不十分でしょう。みんなの意見を聞こうと思えばそういう場が絶対に必要だ。私としては是非ともやってほしい。
- (前田座長) 今、このような要望がありました。今全体の説明を経て、地域の皆さんの声を少しでも聞いて集めていくという状況かと思えます。1団体1団体可能な限り意見を吸い上げていければということかと思えます。団体の長をされている方々にはご苦勞をお掛けすることと思えますが、そのあたりは事務局の方からも意見聴取で必要な場合は、言っていたければお伺いさせていただきますということです。完全な形でやっていけなくても少しでもと思えます。
- (辻本氏) 大勢の人を集めることが出来ないので、パブリックコメントのように、自治会で資料を配って役員さんが集めるということなら出来るが、相当の時間がかかると思えます。許容範囲としてどの位の時期までに仕上げようとしているのですか。
- (事務局) 資料4には2月中になっていますが、今、人が集まるのはコロナ禍では厳しい。資料を配って照会をかけるということが現実的だと思います。期間については、事務方が考えたのは3月は議会があって事務局が対応できないので、お呼びいただいても行けない。だから2月にしたのですが、やり方によって今の状況なら3月にずれ込ん

でも仕方がないと思います。意見交換会でも言いましたが、不安を持っておられる方もおられますので、この課題については、早くしたいという思いがあります。スピード感をもってと思ったんですが、逆にそんなに早く終わるのかということもあります。こちらとしては、丁寧にとということもありますので、コロナ禍では時間がかかっても仕方がないと思います。事務局としては、このスケジュール通りでなくても良いと思っていますので、皆さんで協議いただければと思っています。

(辻本氏) 年度内、3月末までに何らかの報告をということでもないわけですね。来年度に入っても、続けていくということで良いんですね。

(事務局) 傍聴されている方や団体さんとかから意見も出てくると思うんです。それで終わりでは無くて、また進行に応じて色んな個人も含めて出てくると思うんです。そういう意味ではオープンなこの会議ですので弾力的に運営をいただいたらありがたいと思います。

(松尾氏) 自治会の関係でしたら、各自治会長さんに文書で意見を聞くという方法があると思います。その中で、出来るだけ、自治会の会員さんにはこういう動きがあるということをしっかり伝えておいてくださいという形でいけるかなと思います。

(山田氏) オープンな場でやったら、それこそ、色んな意見が出てしんどいと思いますが、そういうのを踏まえてやっていかないと、きれいな形で意見聴取しようとしても進みません。市長さんはどういうふうに考えておられるかは知りませんが、パブリックコメントで「協働」ということを打ち出して皆の意見を聞きたいということは大賛成ですが、その聞き方がちょっとずるいなという感じがします。自分が進めていく方向であれば、教育長なら教育長で皆さんに仰ったら良い。行政の責任者としてこう思っている行くと行って、直接聞かれたら良いと思います。

(中田氏) 小学校・中学校・幼稚園・保育園もですが、保護者に対する意見周知というものはされているんですか。

(奥田氏) 公表とかはされています。行政側の立場として、これを進める中では、あり方検討委員会から教育委員会と取り上げて行って、パブリックコメントもさせていただいて、手続きはすべて出来ています。

市民説明会もして、こういった地域協議会も開催し、意見交換も実施し、そこに各団体から出ていただいていたのでという捉え方をしています。

(事務局) 保護者については、P T Aでと想定しています。学校では無くてP T Aという関係団体です。自治会も一緒に投げかけをしていただいて、まだこういう視点の意見もあるよ、漏れていますよといただけたらありがたいと思っています。この地域協議会で皆さんと地域の方の思いや課題を共有したいんです。そのツールとして団体に参加いただいているのでその団体さんから聞いてくださいということです。

(大久保氏) これまで学校から保護者の方に、どうですかと聞くことも無かったし、P T Aから学校に聞かれることもなかったです。「第二小と統合の話が出ているんですね。」「中学校と小中一貫になるんですか。」と質問されたこともあります。まったくご存じないということも無いと思いますが、全員知っておられるかといえどどうかなと思うこともあります。今回P T Aの会長が出ていただいているので、P T A全体の意見ということであれば、どうやって意見を集めるかということを検討いただいたらと思います。

(山田氏) もう1回確認しますが、オープンに意見聴取する場は設けられないんですか。

(事務局) 先ほども言いましたが、今までずっとやってきたつもりなので、今方向性を出さないと次に皆さんに集まっていただいて説明会をする材料が無いんです。方針を決めないと説明会が出来ない。今、方針を決めるために、関係者のご意見をお聞きしたいということです。昔の開発とかと一緒に案を出してそれに対する説明会をして意見を聞くという想定はしていません。説明会は今後具体的に方向性が決まってそれに伴って、実現に向けての何が課題かを整理して皆さんと一緒に考えていただいた上で、最終的に方向が決まった時点で周知の説明会をします。それはまだまだ先の話です。

(前田座長) 今、事務局から説明いただいたところですが、そういった方向性をもって、ここで原案に対して、課題を整理し、校区のご意見を出していただくということが今回の事務局からの提案の趣旨かと思

ます。こういう状況ですので、資料等を配布いただいて、意見をまとめていただくのが現実的なところかということも言っていておられます。その時には、事務局で資料等をご用意いただけるというふうには思うんですけども、各団体でそういった方法で可能な範囲で様々なご意見を聴取いただくということではいかがでしょうか。

(辻本氏) 一番良いのは、自治会でしていただけると、我々も自治会員ですので、手っ取り早いのではないかと思います。色んな団体でするより、自治会でまとめてするのが良いと思います。

(前田座長) 今、自治会単位でとの意見が出てきましたがどうでしょうか。
学校でのPTAでの意見聴取とかどうでしょうか。

(佐々木氏) 南小は無くなる方ではないので、説明はさせてもらうがどうでしょうか。本部役員会でこういう協議会に出席していると報告はさせてもらうのですが、無くなる方の当事者では無いので「そういう話もあるんですね」ということで終わってしまいます。こうしてほしいという意見までは出てこないです。アンケートとして、資料3を添付して意見聴取するのも一つと思います。

(前田座長) 資料3には、学校規模のことも言っていますし、学校の構成も変わってきますので、小中一貫を進めていくという、視点からのご意見をいただければ、保護者の立場からいただければ貴重な意見になると思います。資料を配っていただいて、一定期間意見聴取いただくという形で、自治会を中心に、PTAの立場でも貴重なご意見といただけるのかと思います。基本的にはこのような形で意見聴取していくということではよろしいでしょうか。

(中田氏) 意見を拾う方法として、資料3に意見聴取の用紙を添付して、自治会で配って、回収するということですか。自治会員のすべてか役員だけか子ども会も含めるのか。それは自治会で自由な感じですか。

(事務局) 自治会の規模によると思います。自治会の運営方法もあるので市で関与出来ないが、自治会長の判断で意見集約をお願い出来ればと考えています。

(中田氏) 南地区の連合会から、自治会長に依頼いただけるのですか。

(松尾氏) 市から各自治会に資料を送ってもらって、自治会長から市へ送って

もらえば良いのではないかと考えています。文書表現は吟味していただいて、分かりやすく、意見を述べやすいように作り直してほしいと考えています。

(事務局) 「基本的な考え方」は分厚くて添付は出来ないのですが、表現はこちらのほうで考えさせてください。概要的なものを付けるかどうか考えます。

(山田氏) 資料3に意見聴取の用紙を付けてするのはやり易いですね。それであれば、市から南小校区と第二小校区へ全世帯に送ってもらえば良いのではないですか。そうすれば漏れ落ちもなくなる。

(松尾氏) この会議には、団体の代表としてメンバーに入っているから、我々にやってほしいと仰っているんですが、大変だからそれ位はやってもらえませんかということです。

(山田氏) 行政の責任としてやるべき、自治会をワンステップ置いて、自治会がやって齟齬が生まれるかもしれない。

(事務局) そもそも行政がやれば行政が主導になるので、今回冒頭で申し上げましたように、この件については、「協創」「協働」でやりたいと考えています。誠に申し訳ありませんが、このメンバーの皆さまも汗をかいていただきたい。勝手な思いで申し訳ありませんが、協議会を通じての意見を聞きたいと思います。行政が聴くんじゃなくて地域と一緒に、地域協議会が動いている活動として、こういうこともやっていますということを市民の皆さまに知っていただいて、地域力を高めたいということもあるんです。地域力を上げるということは教育にとって課題なんです。コミュニティスクールが最たるものです。地域の力を借りて子どもたちの教育環境をよくしていきたいという教育委員会の思いがあって、その流れの中の一つの取組ですので、ご理解をお願いしたいと思います。

(中田氏) 広く浅く皆から集めるのか、私たちの周りの人から集めるんですか、どういう意見を求めておられるのかわかりません。

(奥田氏) 出来るだけ多くの意見を取っていただいて協議いただく、この場で、すべてではないが、こんなものがありますよというような提案をいただけるというような解釈をしています。また、集約するのは、たくさんなものを集約するのは大変だと思うんです。聞いていただ

いた意見を列挙していただくというような形を思っております。

(松尾氏) 一般にパブリックコメントはできないんですか。

(事務局) パブリックコメントは、昨年が終わっています。ホームページにも既に掲載しています。

(松尾氏) ホームページに載せても見ている人は少ない。

(事務局) 今は地域協議会として地域を絞って進めているので、前に戻るということは少し違うと思います。ここまで進んでいるので後戻りばかりして前に進まなくなってしまう。

(松尾氏) ここまで来たということを出せば良いと思う。

(山田氏) 資料を出して、他に何かありませんかということで回覧を回せばやればできると思う。教育委員会が出せないのであれば、協議会として出せば良い。

(松尾氏) このメンバーに汗をかいてやってほしいと言う依頼なので甘んじて受けなければならないところもある。

(山田氏) みんなの意見を出して集約していけば良いと思う。私たちもしんどくなるかもしれないが、協力は出来ると思う。

(岡本氏) 第二小と南小が合併になって、クラス数かすごく増えるものなんですか。

(前田座長) 今の第二小分が増えるだけです。学年で3クラス規模になります。

(岡本氏) 南小の人にとって、1クラス増えようがという人が多いと思います。第二小の方が、残してほしいとか切実な声が多いと思うので、全体的に意見を拾うのは意味がないと思います。私としては、1クラス増えるだけでしょうというイメージです。皆さんが仰っているのもそういうことじゃないかと思います。

(前田座長) 出尽くしたということであれば、出尽くしたということで良いんですが、この資料を見られて、この点はと思われる方もやっぱりあるかと思うので、沢山出てこなくても、出てくるべき意見を拾えたらと思うんです。この協議会で意見を集めていくということなので、出てきたことはこの資料を基に意見聴取の紙を付けて一定期間内に意見を拾っていくという方向かなと思いますので、そんな形で元の資料の部分については、事務局の方で協力いただいて準備するなかで、意見聴取ができるのではないかと思います。そんな形で

ご協力をお願いします。

(松尾氏) 市で原案をつくって、2月28日の全体集会で皆さんに説明して配布しようと思っています。校区で意見は違うと思いますが、建設的な意見が出ればありがたいと思っています。

(前田座長) 2月28日に配布ですか。

(松尾氏) 2月28日に自治連合会の全体会議が開かれますので、終わった後に、南地区の地区別集会を開きますので、そこで配りたいと思っています。また、3月28日の南地区の会議があるのでその時に回収ということでもよいと思います。

(前田座長) それでは、そういうことでよろしくをお願いします。事務局も3月末頃を目途にということでもよろしいでしょうか。

(事務局) それで結構です。

(前田座長) それでは、3月末頃をめどに回収ということでもよろしくをお願いします。ご苦勞をお掛けしますがよろしくをお願いします。もう1点、この協議会に参加していない団体や個人の方への意見聴取についてということも事務局より提案いただいたんですが、どうでしょうか。基本的には自治会に加入されていると思うんですが。

自治会の方で、けっこう広く意見聴取いただけるということですので、すべてモータリングしているということでも進めてよろしいでしょうか。

(松尾氏) 南小校区はこういう形でということになりましたが、第二小校区はどうなるかまだわからないでしょう。自治会については、どのようにしていけば良いのか調整していかなければならないと思っています。

(事務局) 2月5日以降で南地区連合会長あてに状況等連絡させていただきます。

(前田座長) 次第4の「各関係団体からの意見聴取について」は、今ご意見を出していただいた形で進めさせていただきます。次回の協議会で意見聴取について事務局から報告させていただきます。

4. 今後のスケジュールについて

(前田座長) 続きまして、5の「今後のスケジュールについて」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料4 地域協議会スケジュール(案)】の説明

(前田座長) 事務局より説明がありましたが、質問とうございませんでしょうか。

(松尾氏) 第2回の協議会では、何を重点的に意見交換するか決めておいたほうが良いと思います。

(事務局) 原案について自治会の方でご意見いただくとしますので、聴取した意見の共有と整理、原案の検討に当たって懸念される課題・必要な対応の協議をいただくという形になります。

(事務局) 協議は既に始まっていますが、校区見直しとか或いは小中一貫教育にかかる課題が出てくると思います。その課題をまず整理していただいた上で、まず統廃合についての話が、優先順位になってくると思います。仰っておられる中学校区の見直しとかは、次の段階になってくると思います。まず、前提条件を揃えなくては前に進まないと思っています。中学校区や南中の話については、対象の中学校区のメンバーがここには居られませんので、地域協議会のメンバーが変わります。全体会・分科会というやり方も出てくると思うのですが、枝分かれした通学区域の話とかそれは今後の話になってくると想います。まずは第二小との統廃合の話を最優先でお願いします。

(松尾氏) そういうことを、はっきり決めておいてほうが議論が進みやすいと思います。

(前田座長) 他に質問等ございませんでしょうか。この後、意見聴取ということになりますが、それを踏まえまして、次回以降もよろしく願います。議事運営にご協力ありがとうございました。